



社会就労センター[セルブ]

石川セルブニュース



(チャンス) 障害者に働く機会を!
(チャレンジ) 挑戦する勇気を!
(チェンジ) よりよい改善を!

NO. 6

発行 石川県社会就労センター協議会
編集 広報委員会
発行責任者 表 修司
〒920-0946
金沢市本多町3丁目1番10号
(石川県社会福祉協議会内)
TEL(076)224-1212



軽食喫茶『紅梅』の打ち合せ

施設紹介

社会福祉法人 若草福祉作業所

金沢市十一屋町4番34号

当所は通所に便利な金沢の中心部に位置し、ごく自然な形で地域の方々とおふれあうことができます。

年を追うごとに事業も増え毎日忙しい日々を送っています。新しい授産施設の在り方を模索し、自立支援の一環として、積極的に社会参加することが、事業の拡大につながったように思います。

本施設では喫茶『オズ』を運営していますが、自主製品として染色や菓子(ドーナツ等)、漬物類等の製造と販売を行っています。利用者と一緒に汗を流し、保護者の皆様の辛口のご意見と強力なご協力に励まされる毎日です。ちなみにこの季節売れ筋は草木染で売上に大きく貢献しています。

これからも、利用者が胸を張って「私が作った草木染です!ドーナツです!らっきょうです!」と言えるよう頑張りたいと思います。

また、分場コスモスは少人数で家族的な雰囲気

の中、作業だけでなくレクリエーション活動等を行いゆったりしています。

グループホームの『若草ホーム』では団欒の食事ばかりではなく、多少のいざこざもあるようですが、自由な時間は個室でテレビを見たり本を読んだり、思い思いの時間を過ごしているようです。

最後に、一番お知らせしたいことは、何と言っても5月1日に金沢市文化ホール内にオープンした軽食喫茶『紅梅』です。職員はプロの料理人から厳しい指導を受け、自慢のランチはおいしいとの評判です。また食べ放題のサラダ、お替わり自由のコーヒーも人気があります。利用者はピリピリ緊張の日々ですが、施設では見られない真剣な表情に感動することもあります。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

朗らかが第一

～ 翔 点 ～

幸徳園

園長 中村 忠夫

本年5月早々、施設長の資格修了証書が送られてきた。法的な管理者としての認知であり、私へのより高い指導実践が課された証であると、心を新たにしているところである。たかが紙切れ一枚、されど私にとっては計り知れない重みである。

今福祉の世界にとっては、基礎構造改革がことあるごとに叫ばれ、一種の危機感が煽られている。当然にそれなりの対応と心構えは必要であろう。国や自治体の六百兆円にのぼる膨大な債務の付けが国民にのしかかり、緊縮の嵐は福祉の分野も聖域にあらずとして矛先が向けられてきている。私共施設を運営する者にとっては、老人介護保険に見る如く今まで中には負担ゼロであった者が、3万円程の負担が強いられる事態例と、措置費から補助金への切替えによる助成がどう推移するかが最大の関心事である。市は利用者負担への増を示唆しているが具体的には未だ不透明な部分が多い。助成費については、従来の予算は確保するという厚生省の言をうのみにしておればよいのであろうか。

一方現況の経済不況は当園にも波及し、仕事の受注ストップや減が生じてきており、昨年並の工賃確保が厳しい見通しである。職員会議でも議論

を交わしているところであるが、これはと言う妙案は出ない。こう言うことを述べれば、懸命に努力されているセルフ協会の皆さんからひんしゅくを買うやも知れないが、私は尻に火がついたように焦らないことを肝要としている。利用者の経済的自立の大きな要素である工賃増は、就労センターの使命であるが、いたずらに手を染めほぞをかむ場合がある。我が園に一千万円近くの機器が眠り、先般も二百万円余の設備を撤去した。これらを教訓にして、苦しい時こそ堪え、慎重な中で知恵を引き出し対処していきたいと考えているところである。

30数種類にのぼる障害者施設のできるだけ垣根を除去する簡素整理化が有識者から指摘されている。正し克的を得ていると思う。狭い範囲で就労センターが位置付けられるとこうした不況の折のみならず、平素も朗らかな気持ちで利用者や職員も仕事に従事できないのではなからうか。それぞれの利用者の能力に合せ、全員が喜々として園に通ってもらえる雰囲気こそが大切である。毎朝明るい声で「おはようさん」の挨拶が続くことを願って。

のびやか賞を受賞して！(昨年度の受賞者に苦労話や感想を伺いました)



処遇・実践部門

南陽園 矢鋪 幸代

テーマ「QOL(生活の質)の向上を目指して」
～“選ぶ”ことを重視した入園者旅行の実践～

私は、しめきり直前にならないと本気になれないことが、自分自身、悪いくせだと思っています。今回の「のびやか賞」への論文提出のときもそうでした。しめきり直前、一晚、ワープロをにらんで夜を明かし、次の日の朝、読み返し、納得できずにもう一晚、徹夜して、もっと、はやくからとりかかっていれば…と後悔。そんな産みの苦しみの中から、この論文はできあがりました。

そして、このようにしてできた論文が、「のびやか賞」という大変、名誉な賞として評価されたことを、とてもありがたく思っています。論文の中では、利用者のQOL(生活の質)の向上を目指し、“選ぶ”ことを重視した取り組みについて述べておりますが、初心を忘れず、今後も継続して取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。



セルフ事業振興部門

みのり園 三浦 克欣

テーマ「おばちゃん 買うてって～！」
～アスティ販売の実践～

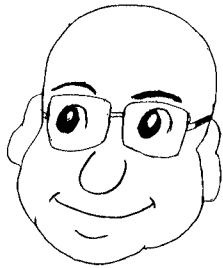
私が、まずこのレポートを書こうと思ったのは、『アスティ販売』(アスティという複合商業施設前での利用者だけによる自主製品の販売)の取り組みを他の社会就労センターの皆さんに紹介したいという思いからからでした。

みのり園では、納豆、漬物、ポン菓子などの自主製品がありますが、やはり販路の拡大に頭を悩ませており、またこれまでの販売方法では、「利用者の“顔”が見えない。」という問題がありました。

それを解消すべく登場したのが「アスティ販売」でした。しかも、販売を「利用者だけ」に任せてしまおうという少し冒険的な方法をとることにしました。だから、私がレポートで紹介できたのはシステムや売り上げなど表面的なことだけで、「販売員(利用者)とお客様(地域の人たち)とのかわり」というレポートの核心部分を十分に伝えることができず、とても残念でした。

この「アスティ販売」の取り組みが、皆さんの施設で何かの参考になればと思います。

○ 石川県社会就労センター協議会 ○



昨年、石川セルフ振興センター運営に際しましては、ご協力を賜りありがとうございました。

さて、2年前より、職員もセンター組織の中に入り、職員パワーのすばらしさを目のあたりにし、これからの石川セルフは、みなさん（施設職員）にかかっているとんでもない過言ではありません。

しかし、経済情勢も低迷状態で、また、社会福祉の基礎構造改革も進められる中、これからの施設のあり方が大きく変わって参ります。この様な厳しい状況の中でこそセルフのプロとして職員の力を発揮し、仕事の確保と障害者へのサービスを

会長 表 修司（南陽園施設長）

目指さなければなりません。

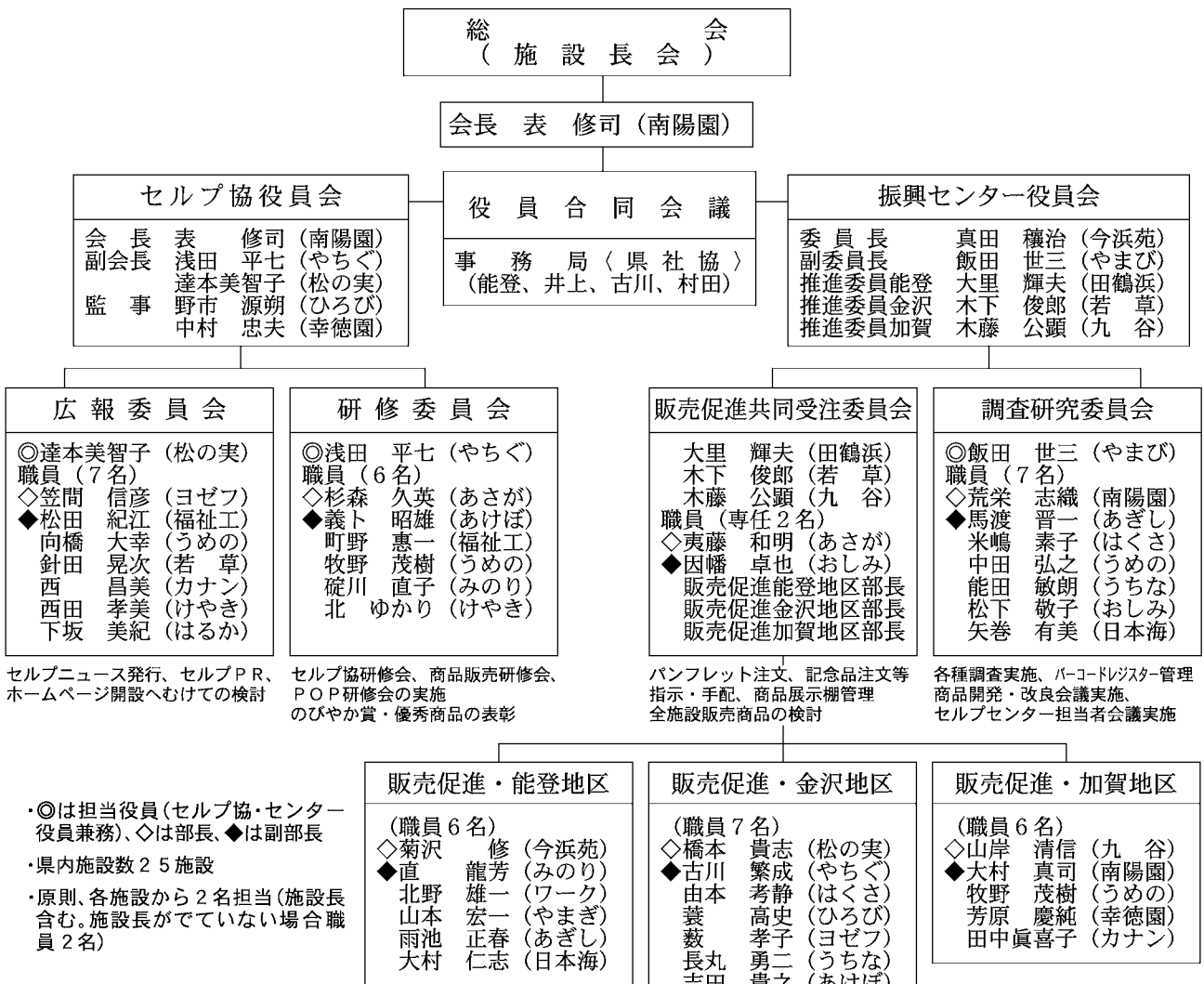
「止まっていても誰も手をさしのべてくれません。前にも進みません。」動いてこそ、力がつき、そしてその足跡こそ、その人の価値が現れるということです。

石川セルフの施設それぞれが、情報交換をしながら、施設、職員が一体となって、利用者の経済的自立、社会参加の促進のために、取り組んでいかなければならないと考えております。

本年は、石川県社会就労センター協議会会長としての大役を仰せつかり、みなさまのご指導とご鞭撻、ご協力を、よろしくお願い申し上げます。



平成11年度 石川県社会就労センター協議会事業推進体制



◎は担当役員(セルフ協・センター役員兼務)、◇は部長、◆は副部長
 ・県内施設数 25 施設
 ・原則、各施設から2名担当(施設長含む。施設長がでない場合職員2名)

フェア、ロングフェア、ショップの実施

石川セルプ振興センター



委員長 真田 穰治
(今浜苑施設長)

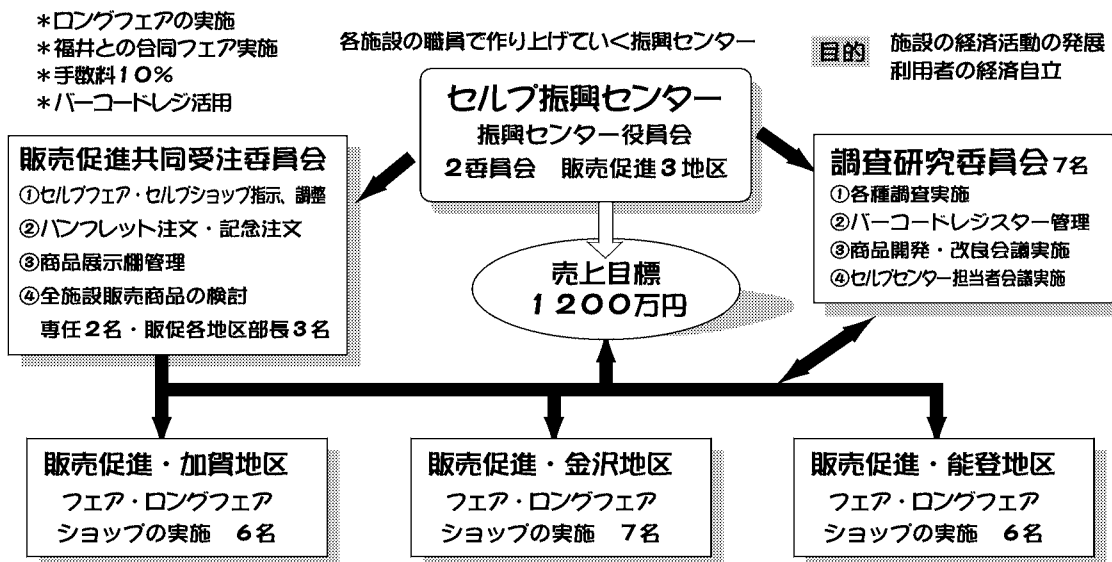
若葉のもえる様な美しい色合いの昨今となり私の気持ちもリフレッシュしております。

さて、この度石川県セルプ振興センター委員長と云う大役を任命され、とまどいと任務を全うしなければとの気持ちが、交叉しております。

平成9年に振興センターを設置し県内外の社会就労センターのご協力で歩みは遅いですが順調に業務は推移していると思われます。ご存じのように就労センター(セルプ)は、身体障害者、知的障害者の施設利用者と共に生産、販売等の経済活動を通じて利用者への少しでも多くの賃金を支給して経済的自立、社会参加の促進を目的として職員、利用者とも日夜を問わずその向上に努力しているところです。一般的には福祉関係は、消費活動のみを行っていると思われているが、社会就労センターは、唯一経済活動を行っており、今後この活動を皆様にご理解とご協力をいただきながら発展させたいと思っております。

さて、今後2年間の任期中にしなければならないことは、前年度の収益目標を20%アップした今年度の目標達成と来年度以降の基礎づくりをしたいと云うことです。私見ですが、目標額設定は手のとどくところに設定し、達成した満足感を全員で味わいたいと思います。先日の会議でも申し上げましたように、“作る喜び”“売る喜び”そして“利用者により多くの賃金を支給できる喜び”の三つの喜びを念頭において努力していきたいと思っております。その為にも皆様方の創意工夫、発想の転換を期待し全員の力で不況といわれている現況を乗り越えたいと思っております。平成15年度には障害関係にも介護保険制度が導入されると予想され、我々の業界においても大きな変革が始まりますので、我々の職場を存続させる為にもセルプ振興センターを発展させる事が大変重要なポイントになるのではないかと考えております。全セルプセンターの総力を上げ業績の進展を計りたいと思っておりますが、役員のみの方ではどうしようもないので、会員皆様方の絶大なご協力をお願いして就任のご挨拶とさせていただきます。

石川セルプ振興センター 今年度の活動



<バーコードについてのお知らせ>

今年度のバーコードプリンターは、右記の場所に置くことになりました。尚、能登・金沢地区は食品用プリンターです。また、バーコードレジスターは、南陽園で管理します。

<バーコードプリンター管理施設>

- 能登地区 みのり園 (担当者:直)
- 金沢地区 けやき野苑 (担当者:北)
- 加賀地区 南陽園 (担当者:荒栄)

各施設プリントに来る場合は、事前に必ず連絡を!

セルプ協・振興センター各委員会より

広報委員会

聖ヨゼフ苑作業所 笠間 信彦

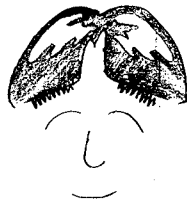
広報委員会部長の笠間です。昨年は、会報委員会として、このセルプニュースの発行をさせてもらっていました。今年も同じ仕事なので見通しがつき、やりやすいと思ったのですが。広報委員会には、セルプニュース（年4回）の発行以外に、セルプの広報PRという仕事や、インターネット、ホームページ開設に向けての検討という仕事が入っていました。ちょっと大変だなというのが本音です。まあ、部員7名で協力し合って一つずつ仕事をこなして行こうと思っています。



研修委員会

セルプあさがお 杉森 久英

昨年度に引き続き、研修委員会の部長をさせて頂くことになりました。6人の委員で今年度ががんばって企画等をしていきますので、よろしくお願い致します。セルプファッションのイメージアップや販売技術など、専門家を招いての講義を予定しております。又、「のびやか賞」の表彰に関する事や、年間売上優秀商品の表彰等についてと幅広い活動となっております。魅力あるセルプ商品が社会に認められ、消費者の生活に少しでも役立てることのできるよう願っております。



販売促進共同受注委員会

セルプあさがお 夷藤 和明

少しでもセルプ協のお手伝いできればと思って委員を申し出たところ、いきなり責任ある立場になってしまって、正直とまどっているところです。

当分の間は部会内の諸先輩方に頼りっぱなしの運営になると思いますが、どうぞご理解頂いて、私自身徐々に勉強していきたいと存じます。

セルプ商品の一層の拡大はもとより、セルプ自体の地域へのさらなる浸透を目指していければと思います。多くの方々のお力添えをお願い致します。



調査研究委員会

調査研究委員会は、昨年度の商品開発部と、調査広報部が、統合された委員会です。調査・研究という名からみなさまの知りたいこと、勉強したい事などニーズに応じた活動を行っていきたくております。又、実態調査においては継続して調査すべきことを抜粋し行っていきたくて考えております。その際に、みなさまにはまた御協力をお願いすると思いますが、どうかよろしくお願い致します。

経験も少なく力不足とは思いますが、委員全員で頑張っ取り組んでいきたくて思います。



販売促進・能登地区

今浜苑 菊沢 修

「翔」が皆さんに届く頃には、アル・プラザ鹿島にて「福井・石川合同セルプフェア in のと」が終わって評価が出ているでしょう。振興センターの今年度のスタートを切ったわけですが、新スタッフと新しい試みにチャレンジしました。オープニングセレモニー、花籠プレゼント、子どもにバルンアートのプレゼント、広報の強化など、とにかくお客様に沢山集まってもらい、気のいい仲間が心を込めて作った商品を沢山買ってもらいたいです。そして少しでも利用者の給与アップを目指したいのです。今年度は、ロングフェアも計画中です。新スタッフの斬新な取り組みにこう御期待あれ！！もちろん皆様の御協力があってこそです。

能登のおじさんより



販売促進・金沢地区

松の実園 橋本 貴志

昨年度に引き続き、販売促進共同受注に属することとなりましたが、今年度は金沢地区部長を務めることとなりました。全体的に売れるために、様々な工夫に対する期待と、このような若輩ものに大役が無事果たせるかといった不安が、現在入り乱れております。

今まで積み重ねて来たものに、さらにプラスして、魅力あるものを創り出していきたいと思っております。振興センターが開設から2年。新たな進歩を遂げるためにも、皆様のご支援等、宜しくお願い致します。



販売促進・加賀地区

九谷の里 山岸 清信

世の中、景気も回復せず、セルプ商品の販売には厳しい環境です。昨年は商品開発で勉強させて頂きましたが、今年は加賀地区の販売促進担当になりました。販売方法を色々工夫してみたいと思っておりますが、とりあえず本年のメイン事業「即売ロングラン」を、是非成功させたいと思っております。皆様の御協力を、お願い致します。





『強み』を売り、 双方イメージアップ!

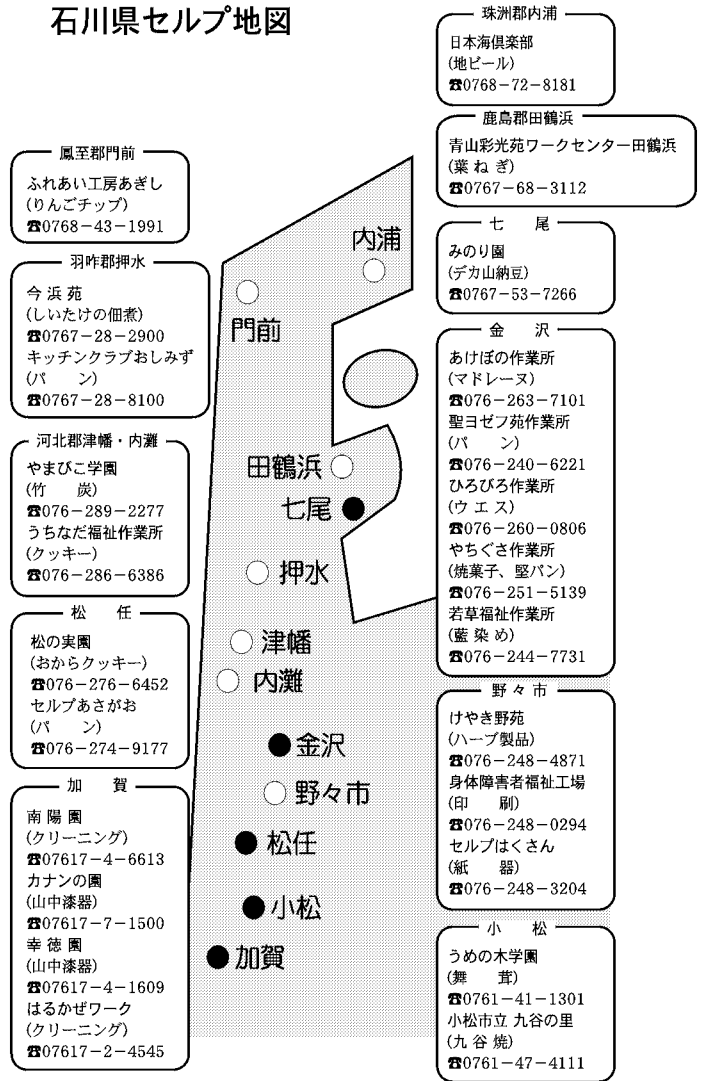
前販売促進部部長 瀧 邦晴

平成10年10月、ジャスコ社の里（金沢市）で福井県セルプとの初めての合同フェアを開催致しました。そして第2回は、福井セルプの企画により武生市にあるアピタ武生店で、平成11年3月25日より4日間開催されました。石川県からは食品を中心に10施設が商品と販売員を出し参加しました。年度末直前という大変多忙な時期にあって、フェアを企画された福井県の実施委員会並びに参加施設の皆様に厚く御礼申し上げます。

最終日、私もフェア会場を見させていただきました。入学・入園シーズン時期でもあり、一番お客様の流れのあるところに仕掛けた格安布製品類、縦の面を上手に使った陳列手法、顧客の声を反映するために、お買い上げ袋に入れるアンケートはがき、販売ボランティア等々大変参考になりました。石川でも即実施出来るものもあると思います。

振興センター3年目に入り、多くの新しい、そして若いスタッフが配属されました。互いの基盤の違いはあると思いますが、常に原点＝誰の為、何の為の事業なのかを確認しながら大同団結し、事業を駆け足で推進してほしいと思います。『若い』、『セルプを余り知らない』……。是非『強み』に替えて下さい。きっと素晴らしい推進力になります。期待します。

石川県セルプ地図



編集後記

遅くなりましたが、今年度初めの号をお届けします。今年度は、各運営委員が大幅に入れ替わりましたので、今回、各委員会の部長さんなどの似顔絵を入れました。互いに知らない者同志の集まりの県セルプ協、この機関紙によって、互いの顔、名前を覚えて、情報交換、交流が活発になればと思っています。

(聖ヨゼフ苑 笠間)

県社協って、どんなところ?

石川県社会福祉協議会は、石川県における社会福祉事業の能率的運営と組織的活動を促進し、地域福祉の増進を図るため、主に下記のような事業に取り組んでいます。

- ①市町村社会福祉協議会の支援・協力
- ②福祉教育・ボランティア活動の推進
- ③社会福祉施設の機能強化の支援
- ④社会福祉事業を支える人材の確保、育成
- ⑤福祉に関する各種情報の収集、提供
- ⑥生活を支える福祉制度の運用

その中で本会施設振興課においてセルプ協・セルプ振興センター事務局を担当しています。その他、県経営協、老施協、保育部会（保育所組織）などの事務局もあります。

県社協事業の詳細については、年間6回、広報紙『社会福祉』を発行し、会員に送付していますので、ご覧下さい。